

## 1. 大阪府教育行政基本条例・教育振興基本計画に基づく観点

親しみやすい歌唱曲や鑑賞曲などを取り入れ、豊かな人間性と創造性を備えることができるよう配慮されている。また、グローバル化が進む国際社会で、力強く生き抜くことができる能力の育成を考えた教材になっている。さらに、我が国と郷土「大阪」の伝統を尊重した教材を取り扱っている。「学習のめあて」やワークシートが示され、学力の向上について配慮されている。生徒の学習活動に関しては、教材をシンプルに示しており、一方で鑑賞教材では説明が豊富に記載されている。写真や挿絵の上に説明や歌詞が重なって記載されている。《⑤⑥⑦⑧》

## 2. 教育基本法に基づく観点

伝統と文化を尊重し、我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重する教材の配列になっている。日本の伝統芸能について、説明や写真資料などの情報量が多く、専門的な内容になっている。《⑥》

## 3. 学習指導要領に基づく観点

表現及び鑑賞の活動を通して、豊かな情操を養うことができるよう配慮されている。また、「わたしたちの暮らしと音楽」(2・3下p62)では道徳性の育成に努めている。生徒の発達段階に応じた学習活動に配慮を要する。諸外国の音楽についても扱われており、多様な音楽を学べるよう配慮されている。ワークシートが記載されている。《①④⑦⑧》

## 4. 外的要素に関する観点

製本が丈夫で装丁も良いが、折り込み見開きページが多く使われている。楽譜のページに色彩が豊富に用いられており、挿絵・写真についても量が豊富である。《③》

## 5. 構成・配列に関する観点

資料が多彩に組み込まれ、情報量が多い。また発展的内容があり、幅広い音楽活動ができるよう配慮されている。「Lots sing」などで歌唱法についての学習活動が示されているが、生徒の発達段階を考慮するとシンプルな内容になっている。鑑賞教材のページでは、右部分の縦一列に時代の流れが記載されている。説明・資料の提示が複数のページに渡っている。《④》

## 6. 資料その他に関する観点

資料の情報量が豊富で専門的である。〔共通事項〕に対する説明が「音楽を形づくっている要素」として1ページにまとめられている。(1p62, 2・3上p56, 2・3下p48) 《③》

## 1. 大阪府教育行政基本条例・教育振興基本計画に基づく観点

各題材の目標（めあて）が明確で、目次部分および「音楽学習MAP」に整理して記載され、また各領域のつながりも示されており、豊かな人間性と創造性を備えることができるとともに、学力向上に配慮された内容になっている。日本の伝統音楽については、適切に教材が配置されており、「郷土の芸能」（2・3上p51）では「調べてみよう」の項目で、「他の国の人に紹介しよう」という視点での学習内容や、文案（2・3上p46）の教材では写真で全体像がわかりやすく示されることで総合芸術としての特徴を理解しやすくまとめられており、我が国と郷土の伝統を尊重する心を養えるよう配慮されている。さらに、また諸外国の音楽については、「国境をこえて影響しあう音楽（2・3下p48）」が、世界の中の日本の音楽について歴史を追って学べるように構成されており、グローバル化が進む国際社会で力強く生き抜くことに寄与するものになっている。ワークシートが充実しており、学力の向上について配慮されているとともに、保護者の負担軽減にもつながると考えられる。楽曲の作られた背景や文化、作曲者の想いについての紹介が適所に記載されており、道徳心・社会性の育成につながるよう配慮されている。全体の構成がすっきりとしており、ユニバーサルデザインにしっかりと配慮されている。《⑥⑦⑧⑨》

## 2. 教育基本法に基づく観点

諸外国の音楽がつくられた時代と日本の時代をリンクさせた記述になっているとともに、楽曲の背景についての資料が適切に配置されており、我が国と郷土を愛するとともに他国を尊重し国際社会の平和と発展に寄与する態度を養える内容になっている。また学習の流れが系統的であり、かつ題材ごと・領域ごとの系統性も保たれており、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求めめる態度を養えるよう配慮されている。表紙裏と次のページ（口絵）は、音楽に対する感性を育てることのできる仕様となっており、豊かな情操と道徳心を培うことにおいて配慮されている。《①⑤》

## 3. 学習指導要領に基づく観点

「音楽学習MAP」において系統的な学習の流れをわかりやすく示すとともに、表現および鑑賞の各活動の支えとなるものとして共通に指導する内容である【共通事項】を「学習の窓口」として示している。また、各教材の中でも学習目標とともに記載されていることで、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、豊かな情操を養うことができるよう配慮されている。鑑賞曲において、諸外国の楽曲について国の説明及び創作された背景など、わかりやすく説明されており、音楽の豊かさ・美しさを感じ取れるよう工夫がなされるとともに、道徳性の伸長にも配慮されている。《①②③④⑤⑥⑦》

## 4. 外的要素に関する観点

製本が丈夫で装丁も良い。楽譜・挿絵・写真などが鮮明で、かつシンプルな色づかいが用いられている。また文字・楽譜の大きさ・フォントおよび文字間や行間、楽譜と楽譜の間の余白部分などが適切で、印刷も鮮明である。《①②③》

## 5. 構成・配列に関する観点

表現・鑑賞・創作領域ともに、生徒の発達段階が考慮された系統的な題材配列になっている。またそれらは偏りなく配置され、器楽分野とも相互に関連性が深く、それぞれにおいて効果的な学習ができるよう構成・配列されている。またさらに、楽曲、特に合唱曲の数が豊富で、基礎・基本となる能力をさらに高め、創造的な幅広い音楽活動ができるよう教材が充実している。それぞれの教材や活動が見開き2ページ以内でまとめられており、週時数1時間の授業時間内でも学習を深めやすく、生徒にとって必要な知識や情報が的確に理解できるよう工夫されている。《①②③④》

## 6. 資料その他に関する観点

写真資料が多様であるが、量や配置は適切で、音楽に対する想像を湧き起こすものとなっているとともに、学習内容の理解を深めやすいものとなっている。楽曲数（21曲）と関連資料が豊富で、学校や生徒の実態および発達段階に応じた教材を選択し学習できるように配慮されている。《①②③》